

中国語の「V 到」とそれに類する表現について

成 戸 浩 嗣

キーワード

- (1) 実現 (realization)
- (2) 話し言葉的 (colloquial)
- (3) 目的 (an aim)
- (4) 持続 (continuation)
- (5) 水準 (a level)

0. はじめに

動作の結果を表わす「V 到」の表現については、平井・成戸 1999 において、日本語動詞との対照研究を通して以下のようなことを明らかにした¹⁾。

「V 到」の後項「-到」が表わす「動作の目標、目的の達成」は、対応する日本語の複合動詞の後項が表わす概念に比べると具体性が弱く、前項の V が表わす動作によって生じる結果の具体性を捨象した、より抽象的な概念である。「-到」が表わすこの概念は「動作自身の実現」であるが、これはその「到達する」という本来の語彙的意味により、V の表わす動作が「実現という到達点に達する」ことを表わすためである。また、「V 到」がいわゆる主要部前項型（意味的な重点が前項にある）の表現形式であるのに対し、対応する日本語の複合動詞は必ずしも主要部前項型ではない。「V 到」に対応する日本語の表現としては複合動詞の外、単独の他動詞や自動詞の場合もある。この場合、「動作自身の実現」という概念が、それらの他動詞や自動詞に内包されているという点で、動作の過程のみを表わす中国語の動詞とは異なる。特に、「V 到」に対応する自動詞の場合には、動作を行おうと働きかける過程の段階は表わさず、実現の段階のみを表わすという点で、二つの段階を前項と後項とがそれぞれ分担して表わす「V 到」とは異なる。

このように、中国語の「V 到」は、対応するとされる日本語の複合動詞、動詞との間に意味構造上の相違を有し、このような相違は、「-到」がもつ語彙的意味や、日中両言語で相互に対応するとされている動詞の性格の相違にも起因する。そして、中国語には、動詞の後に置かれて動作がその目的を達成したことを表わす成分として、「-到」の外、さらに「-着」、「-上」が存在する。

例えば

(1)a 我买到了一本书。

(1)b 我买着一本书。

(1)c 我买上了一本书。

は、いずれも自然な表現として成立する。しかし、「-到、-着、-上」が同じく動作の目的達成を表わすとはいっても、三者のいずれを用いて表現するかを選択に際しては、話者の表現意図が深く関わっていると考えられる²⁾。上記の三者の相違について詳しく論じた先行研究は現在のところ見あたらないが、この点について考察を加えることにより、「-到、-着、-上」についての従来の記述に加えて、さらに一定の見解を提示することができよう。

本稿は、「-到」が客体を必要とする動詞に付加されて動作の目的達成を表わす表現を考察の中心として、平井・成戸 1999 で行なった「V 到」についての考察をさらに深めると同時に、「V 到」の表現と、「-到」を「-着」或いは「-上」に置き換えた「V 着」、「V 上」の表現との相違についても明らかにすることを目的とする。但し、「-到」、「-着」、「-上」と組み合わせられる動詞は数多く種類も様々であり、動詞の性格も一様ではない。従って、本稿では、「具体的な動作を表わし、かつ、非感覚動詞であるもの」に限定して扱うこととする³⁾。

1. 「V 到+客体」と「V 到+トコロ」

「V 到」と「V 着」、「V 上」との比較を行なうに先立ち、本節では、平井・成戸 1999 で述べた「V 到」の特徴に関する内容に加えて、さらに考察を深めることとする。これによって「V 到」の特徴が一層明らかとなり、「V 着」、「V 上」との比較考察が容易となるからである。

前述したように、「-到」はその「到達する」という語彙的意味により、前項 V の表わす動作が「実現という到達点に達する」こと、即ち「動作自身の実現」を表わすが、この用法は、「動作の結果として主体あるいは客体がトコロに到達する」ことを表わすという「-到」の用法から派生したものであると考えられる。このことは、同一の動詞を用いた「V 到」が、例えば以下のように、「V 到+客体」、「V 到+トコロ」いずれの表現形式にも用いられる場合が存在することによって明白である。

(2) 好容易才找到了朋友的家。

(3) 我找孩子正好找到他家。

(4) 昨天书店卖《新英汉词典》，我买到了一本。

(5) 几个大商场我都买到了, 也没买着。

(2), (4) においては、「找到」, 「买到」は、それぞれ「朋友的家」, 「一本 (《新英汉词典》)」を客体としており、「-到」は、「找」, 「买」という動作がそれぞれの客体に及ぶことによって実現の段階に達することを表わしている。これに対し、(3), (5) においては、「他家」, 「几个大商场」は、「找到」, 「买到」の客体ではなく、「找」, 「买」という動作を行うために主体「我」が到達するトコロである。但し、(3), (5) における「找」, 「买」は、「V 到+トコロ」の形式に用いられてはいるが、例えば

(6) 他一路小跑, 跑到教室。

(7) 小胖要被妈妈送到乡下姥姥家。

における「跑」, 「送」のように、「トコロへの移動」という意味特徴を含んでいるわけではない。

一般に、(6), (7) のような「V 到+トコロ」の表現においては、「到+トコロ」はこれ自体が一つの成分 (V に対する補語) であり、表現全体の意味的な重点は V ではなく「到+トコロ」にあるとされているのに対し、(2), (4) のような「V 到+客体」の表現においては、「V 到」は一つの語相当の成分で、その意味的な重点は「到」ではなく、前項の V にあるとされている⁴⁾。(3), (5) の「找到」, 「买到」はいずれも、動作の結果として主体がトコロに到達することを表わしている点において (6) の「跑到」と共通しているため、表現全体の意味的な重点は「找」, 「买」ではなく、「-到」及び「他家」, 「几个大商场」にあると考えて差し支えない。但し、(3), (5) の「找」, 「买」は、上記のように「移動」という意味特徴を含んでおらず、この意味特徴は後続の「-到」に含まれている。このことは即ち、同じく到達点としてのトコロを示す成分であっても、(3), (5) の「-到」と (6), (7) のそれとでは、前者の方が一つの動作を表わす成分としての独立性がより強いということを意味し、さらに換言すれば、(3), (5) における「-到」は主体の動作（「找」, 「买」という動作を行なおうとした結果、主体が「他家」, 「几个大商场」というトコロに到達した）を表わしており、「找」と「到 (他家)」, 「买」と「到 (几个大商场)」とは、それぞれ相互に別個の動作であるということである。これに対し、(6), (7) の「跑到」, 「送到」の場合には、「跑」, 「送」は「-到」と一体化した動作であり⁵⁾、「-到」は動詞としての意味特徴は有するものの、(3), (5) のそれと比べると、到達点を示すマーカーとしての性格がより強いといえることができる。

従って、(3), (5) の「找到」, 「买到」は、(2), (4) の「找到」, 「买到」のようないわゆる主要部前項型の表現ではないが、(6), (7) の「跑到」, 「送到」の場合と比較すると、前項である「找」, 「买」の「-到」に対する意味的な独立性がより強いといえることができる。

以上のことは、(3), (5) 及び (6), (7) を、以下のような日本語の表現と比較することによって一層明白となる。

(3), (5) を日本語の表現に置きかえると、

(3)'私は子供を探しまわっていて、今ちょうど彼の家に(たどり)着いたところだ。

(5)'私は、いくつかの大きな店すべてに(買いに)行ったが、買えなかった。

となり、「-到」に対してはそれぞれ、「(たどり)着く、行く」という動詞が対応している。

これに対し、(6)、(7)は、それぞれ

(6)'彼は小走りに教室マデ走っ(て行っ)た。

(7)'小胖はお母さんによって、田舎のおばあさんの家ニ送られることになった。

という日本語の表現に置きかえることができるが、「-到」に対しては、日本語の動詞ではなく、「マデ」、「ニ」のようなトコロを示す成分が対応している。「移動」という意味特徴を有しない動詞「找」、「买」に後続している(3)、(5)の「-到」は、(3)'、(5)'においては移動動作を表わす動詞に置きかえられているのに対し、上記の意味特徴を含んだ動詞「跑」、「送」に後続している(6)、(7)の「-到」は、(6)'、(7)'においては、移動動作を表わす動詞に置きかえられてはいない⁹⁾。

前述したように、「-到」は、(3)、(5)におけるように、移動を伴わず、かつ、客体を必要とする動作を表わす動詞の後続成分となって動作の到達点を示すことができるが、非移動動詞と結びつくという「-到」のこのような性格が、(2)、(4)のような、「V到」の後にトコロではなく客体を直接続けて動作が客体に及ぶことを表わす表現の存在を可能ならしめていると考えられる。(2)、(4)の「朋友的家」、「一本(《新英汉词典》)」は、客体であると同時に、「找」、「买」という動作の結果としての到達点でもあり、到達点であるという限りにおいては、(3)、(5)の「他家」、「几个大商场」と共通している。但し、(2)、(4)の「-到」は、到達点である客体を示すと同時に、Vに対する従属的な成分として動作の実現の段階をも表わしているため、純然たる空間的到達点であるトコロを示す成分である(3)、(5)の「-到」よりも抽象的な概念を表わしているといえることができる。

(2)、(4)と同様に、

(8)她寄来的礼物,我收到了,可是没收下。

においては、「-到」は動作の実現を表わしている。しかし、(8)が表わす内容は、

(8)'彼女が送ってきた品物は、確かに私のところに到着したが、私はそれをもらわなかった⁷⁾。

であるため、「-到」は、動作の実現を表わしながらも、「(トコロに)到達する」という本来の概念が(2)、(4)の「-到」に比べると濃厚である。一方、(3)、(5)の「-到」は純然たるトコロを示す成分であるため、(8)の「-到」は(3)、(5)のそれよりも、動作の実現を表わす成分としての性格がより強いということになる。(8)のような表現例の存在によって、トコロを示す「-到」と動作の実現を表わす「-到」との間の意味上の境界は明確ではなく、両者の間には連続性があり、トコロを示す「-到」の派生的な用法として動作の実現を表わす用法が存在することは明白である⁸⁾。

2. 「V 到＋客体」と「V 着＋客体」

前節で述べたように、「-到」は、「到達する」という移動動作を表わす本来の用法から、「V 到＋トコロ」のような動作の到達点としてのトコロを示す用法を経て、「V 到＋客体」のような動作の実現を表わす用法へと発展的に用いられるようになったと考えられるが、同じく動作の目標、目的の達成を表わす成分である「-着」と比較することによって、さらにいくつかの特徴が明らかとなる。

「-到」と「-着」との相違の一つとしては、前者よりも後者を用いた方が、より話し言葉的な表現となるということが挙げられる。

(1)a の「买到了」と (1)b の「买着了」は、いずれも「买」という動作の結果として、客体である「一本书」が手に入ったことを表わす点においては共通しているが、前者はより書き言葉的な表現であるのに対し後者はより話し言葉的な表現であるとされる。

同様の例としては、さらに

(4)a 昨天书店卖《新英汉词典》，我买到了一本。

(4)b 昨天书店卖《新英汉词典》，我买着了一本。

(9)a 小芳抓到了一只蜻蜓。

(9)b 小芳抓着一只蜻蜓。

(10)a “你要到了吗？” — “要不到。”

(10)b “你要着了么？” — “要不着。”

(11)a 你的来信，我收到了。

(11)b 你的来信，我收着了。

が挙げられる。特に、(11)a と (11)b とでは、手紙の文面、即ち書き言葉としては (11)a の方が better であるのに対し、電話での発話、即ち話し言葉としては (11)b の方が better であるとされるといったように、それぞれの表現が用いられる場面が具体的に想定される。

また、

(12)a 人们可以在这里买到各种各样的玩具。

は、書き言葉的な表現であるため、「-到」を「-着」に置き換えて

*?(12)b 人们可以在这里买着各种各样的玩具。

とすると非文もしくは不自然な表現とされる。(12)b から「人们」を削除し、「可以」を「在这里」の後ろに移し換えて

(13) 在这里可以买着各种各样的玩具。

とすると話し言葉的な表現となり、「-着」を用いた表現が成立する。

「-到」と「-着」との間の上記のような相違について述べたものとしては、例えば刘 1983 がある。同書 p. 332-333 は、「-到」については「表示动作达到了目的，与“着”的第一个意思相同，口语、书面语都用。」として

- (14) 你丢的那支钢笔找到了。
(15) 我借到了一本非常有趣的书。
(16) 昨天下午我见到了你哥哥。

を挙げ、「-着」については「表示動作达到了目的，多用于口语。」として

- (17) 你说的那本书我借着了。

を挙げている⁹⁾。刘の記述においては、「-着」は話し言葉で多用されるのに対し、「-到」は話し言葉、書き言葉のいずれにおいても用いられるとしているにとどまり、「V 到」が「V 着」に比べてより書き言葉的な表現形式であるとまでは断定していない。

また、香坂 1983p. 42 は、「“-着”は一般に北京語=北方語でよく用いられる。他の地方，華中，華西，華南一帶では“-到”を用いるが，現在普通話では共存している。」とし、頼明 1993p. 184 は、「もともと北方語に存在していた“動+着”構造において，その使用される動詞に制限があり，用例も狭く，目的物を目的語にもち『獲得』を表わす用法として十分機能していないため，“動+到”が何らかの影響を受けて，“動+着”の用法を補助する形で，現在一般に見られるような“動+到”の用法が，生まれてさらに広がっていく兆しを我々に見せているのではないか。」としている¹⁰⁾。

香坂、頼の上記の記述からは，動作の目的達成を表わす表現形式として北方方言に由来から存在していた「V 着」に加えて，本来は南方方言の表現形式であった「V 到」が「V 着」を補う形で用いられるようになったことがうかがえるが，このように，「V 到」の用法を理性的に把握した上で普通話に用いるようになったという経緯から，「V 到」は，純然たる話し言葉的な表現形式である「V 着」に比べ，相対的に書き言葉的な表現形式としてのニュアンスを帯びるようになったと考えられる。

さらに，項 1997p. 161 は，「手に入れる」という意味特徴を有する「V 到 NP」の表現において，用いられている動詞が書き言葉的な色彩の比較的強い二音節動詞である場合には「-到」を「-着」に置き換えることはできないとしているが¹¹⁾，このような場合には「-到」の「-着」に対する書き言葉的な特徴が最も明白に現れると考えられる。同書 p. 160 はまた，話し言葉において「-着」が用いられる頻度は，書き言葉におけるそれよりもずっと高いとし，「-着」が話し言葉だけでなく書き言葉においても用いられる場合があることを否定してはいないが，このことから，「V 到」，「V 着」の両者は現代中国語において共存しつつも，前者が後者に比べ，書き言葉において用いられる頻度が高いことが容易に推察される。このため，「V 到+客体」の表現に用いられる動詞が，話し言葉においてごく普通に用いられる一音節動詞である場合に，「-到」が「-着」よりも書き言葉的なニュアンスを帯びたとしても，これまでに述べた「-到」の特徴から見て，何ら不自然ではないと考えられる。書き言葉的ということは，換言すれば，共通語として標準化された表現形式としての特徴を，「V 到」は「V 着」よりも多く備えているということであり，「V 到」が書き言葉においてのみ用いられるということではない。

従って、「-到」、「-着」の相違が、(12)a, (12)bにおけるように明確に表現の成立、不成立に影響を及ぼす場合も存在するが、一方では、例えば

- (18) A: 星期六你有时间吗?
B: 有哇!
A: 我想去看杂技, 你去不去?
B: 去, 最近没看过。
A: 那咱们一起去吧。
B: 太好了。
A: 但就怕买不着票。
B: 不要紧, 有办法。

においては、「但就怕买不着票。」を「但就怕买不到票。」とすることも可能である。但し、(18)は明らかな会話文、即ち純然たる話し言葉であるため、「-到」よりは「-着」を用いる方が better であるとされる。この点では、(10)a, (10)bも(18)と同様であり、(10)bは(10)aよりも better であるとされる。

ところで、

- (19)a 我捡到了一个钱包。
(19)b 我捡着一个钱包。

の両者を比較すると、(19)aの方が(19)bよりも better であるとされるが、これは、「-到」の方が「-着」よりも偶然に実現したコトガラを表わすのに適しているためである。『中国語教科書(上)』p. 247-248は、「着」が結果を表わす補語に立つ場合は、動作がすでに予期した目的を達しまたは成果をおさめたことを意味する、としているが¹²⁾、(19)a, (19)bにおける「財布を拾う」という動作は、通常は主体があらかじめ予期し得るものではなく、偶然に実現するものであるため、このようなコトガラを表わすには「-着」よりも「-到」の方が適している。(19)a, (19)bに対し、

- (20)a 我挖到了很多蛤蜊。
(20)b 我挖着了很多蛤蜊。

の場合には、「アサリを掘る」という動作は「財布を拾う」とは異なり偶然に実現する動作ではなく、通常はあらかじめその目的をもって行われ、実現されるものであるため、このような場合には「-着」を用いた(20)bの方が、「-到」を用いた(20)aよりも better であるとされる。

また、

- (21)a 在那家餐厅可以吃得到一流的中餐。
(21)b 在那家餐厅可以吃得着一流的中餐。

の両者を比較すると、(21)aは、「あのレストランでは一流の中国料理が食べられる」ことを表わす表現として自然に成立するが、(21)bは、「以前から食べたかったある特定の料理が食

べられる」ことを前提とした表現となり、「一流の中国料理」という漠然とした概念との間に不整合さが生じるため、不自然な表現とされるか、或いは表現の整合性においては (21)a に劣るとされる。

さらに、

(17)a 你说的那本书我借到了。

(17)b 你说的那本书我借着了。

の場合には、「あなたがかつて話題にしたことのある (特定の) 本を探していてそれを見つけて借りることができた」ことを表わす表現であるため、このようなコトガラには偶然性が乏しく、「-到」を用いた (17)a よりも「-着」を用いた (17)b の方が better であるとされる。

このように、「V 着」は、主体があらかじめ行おうとしていた動作の実現を表わすのに適した表現形式であるため、(1)a と (1)b とでは、前述したような「書き言葉的、話し言葉的」という相違に加えて、さらに表現の整合性に差異が見られる。即ち、(1)a、(1)b における「一本书」は、言うまでもなく不定物であるため、あらかじめ主体が意図した結果としてそれを買って手に入れたとも考えられるが、偶然のきっかけから買って手に入れたとも考えられ、後者の場合には (1)a の方が (1)b に比べて表現の整合性が高い。(1)b は、「一本书」を「那本书」に置き換えて

(1)b' 我买着了那本书。

とすると表現の整合性が高くなるが、これは、既定物である「那本书」は、あらかじめ主体がそれを買って手に入れようと意図するものである可能性が高いためである。

同様の相違は、(4)a と (4)b との間にも存在する。前述したように、(4)b は (4)a に比べてより話し言葉的な表現とされるが、さらに別の角度から見れば、(4)b は「以前から買うつもりであったがなかなか手に入らなかった《新英汉词典》が、昨日書店に並んでいたので私はそれを買った」ことを表わす場合に用いられる表現であるのに対し、(4)a は、(4)b と同様の内容を表わす場合にも、さらには「昨日たまたま書店に《新英汉词典》が並んでいるのを目にし、その場で買いたくなって買った」ことを表わす場合にも用いることができる。

さらに、以下の会話文においては、話者それぞれの表現意図によって、「-到」、「-着」いずれを用いるかの選択がなされていると見る事が可能である。

(22)-① A: 你什么时候回来的?

-② B: 刚回来。

-③ A: 那本书买到了吗?

-④ B: 我在书店里转来转去, 找了半天也没找着。

-⑤ A: 那太遗憾了。

-⑥ B: 没关系。自己的书没买着, 但顺便给你买了本儿《时装》。

(22)-③において、話者 A は、外出先から戻ってきた B に対し、「那本书买到了吗?」のような「-到」を用いた表現により「(例の) あの本は買えたか」と尋ねている。これに対し、

話者 B は, (22) - ④においては「我在书店里转来转去, 找了半天也没找着。», (22) - ⑥においては「自己的书没买着, 但顺便给你买了本儿《时装》。」のような「-着」を用いた表現で「自分が買おうと思っていた (例の) あの本は見つからなかった/買えなかった」と述べている。上記の表現例において, 本を手に入れたいという意味をあらかじめ有していたのは言うまでもなく B の方であり, (22) - ④, (22) - ⑥において B が「-到」ではなく「-着」を選択したのは, 「自分があらかじめある特定の本を買おうと意図して外出し, 書店に行って店の中をあちこち探したが見つからなかったために買うことができなかった」ということを表現するためである。これに対し, (22) - ③において A が「-到」を選択したのは, 「那本书」は既定物であっても, 自分が買おうと意図したものではないため, 「-着」を用いて表現する必然性が特にないためである。(22) - ③の「买到」を「买着」としても, 自然な表現として (22) の会話文の中で用いることはできるが, 「买到」の場合に比べると, 相手の B の立場により近い視点でコトガラを表現しているというニュアンスを帯びるとされる。

以上のように, 主体があらかじめ意図していた動作の実現を表わすという性格が強い「V 着」の表現に対し, 「V 到」の表現は, その「到達する」という語彙的意味によって, 「主体があらかじめ行おうと意図していた動作が実現した」という, いわば達成を表わす場合にも, 「主体が本来は行うつもりではなかった動作を成り行きによって行うことになり, それが実現した」という, いわば偶然の結果を表わす場合にも用いることができるという相違を有する¹³⁾。

「-到」とは異なる「-着」の特徴としては, さらに, 以下のような点が挙げられる。即ち, 動作の後ろに付加される「-着 (zhe)」は, 持続 (動作の持続状態, 動作の結果の持続状態) を表わすことができるが, 本稿の考察対象である「着 (zháo)」は, 持続を表わす「着 (zhe)」に通ずるニュアンスを有する場合があります, 例えば

(23)a 老张找到了那本书。

(23)b 老张找着了那本书。

の両者を比較すると, (23)b は, 発話時において「老张」の手元にまだ本があるかも知れないというニュアンスを含んでいるのに対し, (23)a はそのようなニュアンスを含んではいないとされる。

また,

(24)a 我刚来北京, 对北京还不太熟悉, 找了很长时间, 才好不容易找到小李的家。

(24)b 我刚来北京, 对北京还不太熟悉, 找了很长时间, 才好不容易找着小李的家。

の両者を比較すると, (24)b は, 発話時において「我」がまだ「小李的家」にいるかもしれないというニュアンスを含んでいるのに対し, (24)a はそのようなニュアンスを含んではいないとされる。(23)b, (24)b はいずれも, 「找」という動作の結果が発話時においてまだ残存しているというニュアンスを (23)a, (24)a に比べてより強く含んでいるのであるが, このことは, 「-着」という成分が, 動作の実現を表わす「-zháo」の用法を有する一方で, 持続を表わす時態助詞「-zhe」の用法をも有するということと無関係ではないと考えられる。

上記のような特徴をもつ「-着 (zháo)」に対し、「-到」の方は、本来は「着く、到着する」という、いわば瞬間的に終了する動作を表わす成分であるため、持続という概念とは相容れない性格をもっているが、このことは、「-到」が補語として動詞の後に置かれる場合についても同様であると考えられる。従って、「V 到+客体」は、動作の客体への到達、即ち、動作の実現までを視野におさめてコトガラを表現することはできるが、「V 着+客体」のように、動作が実現した後、その実現した結果が発話時においてまだ持続しているか否かについては問題とはしない表現形式である。(23)a, (24)a と (23)b, (24)b との間に見られる前述したような相違は、「-到」、「-着」が有する以上のような意味特徴の相違、即ち、「持続」という意味特徴を含まない「-到」と、それを含む「-着」との相違に起因する。

3. 「V 到+客体」と「V 上+客体」

「-上」は、動作がその目的を達成したことを表わすことができるという点においては「-到」、「-着」と共通しているが、「-上」が表わす動作の目的達成は、同時に「動作の結果として一定の水準に達すること」でもある場合が存在するという点においては、「-到」、「-着」とは異なる。

例えば

(25)a 他去姥姥家才能吃**到**好菜。

(25)c 他去姥姥家才能吃**上**好菜。

の両者を比較すると、(25)cの方は、「他」の家では、貧しいために“好菜”を食べることはできないが、“姥姥家”は“他”の家よりも豊かで食生活の水準が高いため、“姥姥家”に行けば“好菜”が食べられる」ことを前提とした表現であるのに対し、(25)aはそのようなことを必ずしも前提とせず、食生活の水準を取り立てて問題とはしない表現であるという相違が見られる。

また、

(26) 经过十年的改革，他们都吃**上**饭了。(十年間の改革を経て、彼らは皆食べていけるようになった。)

(27) 过去他穷得连饭都吃不**上**。(以前、彼はくちすぎもできないほど貧しかった。)

は、いずれも「ある時点までは満足に食事もとれないような生活をしていたが、発話時においてはすでに生活レベルが向上し、食事がきちんととれるようになった」ことを前提とした表現であるが、これらの表現における「吃**上**」は、「食べる」という具体的な概念よりはむしろ、「ご飯を食べる＝生活する」という抽象的な概念を表わしていることが明白である。この場合には、「一定水準への到達」を表わす「-上」の特徴が、(25)cにおけるよりも一層明白に現れている。(26)、(27)の「-上」を「-到」に置きかえると、いずれも非文もしくは不自然な表現とされる。

一方、「吃到」は、例えば

(28)a 震区的人已经三天没**吃到**饭, 今天终于**吃到**了。

におけるように、「食事をする」という具体的な動作が実現したことを表わすのに用いられる。但し、「V 上」の表現は、一定水準への到達という抽象的な意味特徴を有するが、具体的な動作の実現を表わすことを必ずしも妨げず、(28)a の「-到」を「-上」に置き換えた

(28)c 震区的人已经三天没吃**上**饭, 今天终于吃**上**了。

も、自然な表現として成立する。

さらに、

(29)c 这会儿吃**不上**青菜。

は、「このごろは (高くてなかなか買えないため) 野菜を食べることができない」という、一定の経済水準への到達を問題とした表現として用いることも、「このごろは (不足しているため) 野菜をなかなか食べることができない」という、動作の客体そのものへの到達を問題とした表現として用いることも可能であるのに対し、

(29)a 这会儿吃**不到**青菜。

は、動作の客体そのものへの到達を問題とした表現としては用いることはできるが、一定の経済水準への到達を問題とした表現として用いることはできない。このことは、「-着」を用いた

(29)b 这会儿吃**不着**青菜。

についても同様にあてはまり、一定水準への到達を表わすことができないという点において、「-到」、「-着」は、「-上」に対し共通した相違点をもつ。

ここで、「-上」が用いられている具体的な文脈を見てみることにする。

(30) 第二天, 果然有十几个仙女来到湖里洗澡, 其中有个叫织女。当织女洗完澡来取衣时, 猛然看见一个小伙子正拿着她的衣服, 吓得掉头就往回跑。牛郎费了好大劲才把织女叫住, 并请求织女答应做他的妻子。织女觉得牛郎挺老实, 也挺可怜, 于是就同意了。

从此他俩结成了夫妻。织女到底是经织布锻炼出来的, 家务事样样都拿得起。牛郎每天回到家都能吃**上**热饭热菜, 乐得他喝不拢嘴。织女也觉得人间要比天堂好上一百倍。

后来他们生了一男一女, 日子过得挺美满。

(30) の「牛郎每天回到家都能吃**上**热饭热菜」においては、いままで一人身であった牛郎は、家に帰っても暖かい食事を用意して待っていてくれる人もなく、そのような恵まれた水準の生活をすることはできなかったが、「织女」と結婚したことによって、毎日家に帰ると暖かい食事がとれる恵まれた生活を楽しむことができるようになった、という前提のもとに「-上」が選択されている。「-上」を「-到」に置き換えても自然な表現として成立するが、上記のような文脈においては、「-上」を用いる方が better であるとされる。

また、(1)a, (1)b, (1)c の三者を比較すると、(1)c は、自然な表現として成立はするものの、例えば

(1)c' 我买上了一辆汽车。

(1)c"我买上了一台彩电。

のように、客体として「一本书」よりも高価な、それを手に入れるためには一定の経済水準に達していることが必要であるようなモノである「一辆汽车、一台彩电」を用いた表現とする方が better であるとされる。これに対し、(1)a, (1)b は、一定の経済水準への到達とは拘わりなく、「一本书」を買って手に入れたことを表わす表現として成立する。

同様に、

(31)a 录音机、电视机我们家都买到了。

(31)b 录音机、电视机我们家都买着了。

(31)c 录音机、电视机我们家都买上了。

の三者を比較すると、(31)a, (31)b は、例えば「“录音机、电视机”という（なかなか手に入りにくい）モノの在庫があったために買って手に入れることができた」ことを表わす表現であるのに対し、(31)c は、「“录音机、电视机”を買うだけのお金が手元にあったために買って手に入れることができた（=普通なら高くても簡単には買うことができないようなそれらのモノを買うだけの経済的な水準に達しているために買えた）」ことを表わす表現であるという相違が見られる。

さらに、

(32)c 人太多，票买不上。

は、「混んでいるために切符が買えない」という内容を表わすが、これは一定水準への到達とは何ら関わりないコトガラである。このため、(32)c は、自然な表現として成立はするものの、「-上」を「-到」或いは「-着」に置き換えて

(32)a 人太多，票买不到。

(32)b 人太多，票买不着。

とする方が表現の整合性が高いとされる。

以上のように、「V上」は、動作の結果を「一定水準への到達」という側面から捉える表現形式としての性格を有するが、このことは、「收」を用いた以下の表現例においても明白に現れている。

(33) 收上一千斤粮食，一年就饿不着。

における「一千斤粮食」は、「收」という動作の客体であると同時に、穀物の収穫が達した水準である数量を表わす成分でもある。これに対し、

* (11)c 你的来信，我收上了。

は、「你的来信」が「收」という動作の客体ではあるが、動作の結果として到達する水準ではないため、非文とされる。

また、「拿」を用いた表現である

(34)a 拿不到租金。

(34)b 拿不着租金。

(34)c 拿不上租金。

の三者を比較すると、(34)a, (34)b は「家賃を取る (徴収する) ことができない」という内容を表わすのに対し、(34)c は「(お金がないため) 家賃を払うことができない」という内容を表わすという相違が見られるが、このような相違も、動作の結果として一定水準に到達することを表わす「-上」と、そのような働きを有しない「-到」, 「-着」との性格の相違に起因すると考えられる。

従って、(34)a, (34)b, (34)c にそれぞれ主体を補うとすれば、例えば

(34)a' 房东拿不到租金。(大家が家賃を徴収することができない。)

(34)b' 房东拿不着租金。(大家が家賃を徴収することができない。)

(34)c' 我拿不上租金。(住人である私が、お金がなくて家賃を払うことができない。)

となる。

本節で述べた「-上」の特徴は、これまでに挙げたいわゆる他動詞表現の場合だけでなく、さらに、「住」のような自動詞を用いた表現についてもあてはまり、例えば

(35) 老王一直干到退休才住上新房。

における「新房」は、「老王」が退職までずっと働いてやっとそこに住むことができるようになったところであると同時に、働いた結果として到達した生活水準の具体的なカタチでもある。

註)

- 1) 平井勝利・成戸浩嗣 1999 「中国語の“V 到”とそれに対応する日本語の表現」『言文化論集』第 XX 巻 第 2 号 名古屋大学言語文化部・国際言語文化研究科
- 2) 「-到, -着, -上」の三者がこのような共通点を有する点について、《現代汉语八百词》商务印书馆 1983 は、「“-到”表示动作达到目的或有了结果。」「“-着”表示达到目的。」「“-上”表示动作有结果。有时兼有达到一定的目的或标准的意思。」としている。
- 3) 「看, 听, 闻」などの感覚動詞は、「-到, -着, -上」の外、「-见」を補語としてとる場合があるという点で、非感覚動詞とは異なる性格を有すると考えられる。また、黄华 1992 「“动(形)+到+…”的结构分析」《现代汉语补语研究资料》北京语言学院教学研究所编 p. 620-621 は、「V 到」に用いられる動詞を、①「手に入れる」という意味特徴をもつもの(找, 抓, 捡, 买, 吃, 喝, 收など)、②感覚動詞・精神活動を表わす動詞(看, 听, 闻, 尝, 想, 猜, 考虑, 体会など)、③その他(说, 谈, 讲, 问, 讨论, 影响など)の三種類に分類した上で「V 到」の表現について論じているが、本稿の考察対象である「V 到」の表現に用いられる動詞は、上記の①に属するものである。
- 4) この点については、平井・成戸前掲書 p. 98-100, 陈永生 1992 「也谈动词后面的“到”——《谈动词谓语句后面的“到”的性质和作用》质疑」『现代汉语补语研究资料』北京语言学院语言教学研究所编 p. 350-351 を参照。
- 5) 陈前掲書 p. 351 は、「他跑到复旦大学。」のような表現における「跑」は、「到」という動作の状態或いは方式を表わしている、としているが、「到」は「跑」という動作の結果と捉えることも可能である。
- 6) 但し、「移動」という意味特徴を含まない動詞であっても、例えば「她被人贩子卖到山东。(彼女は人買いによって山東に売られた。)」における「卖到」の場合には、対応する日本語の表現として「(トコロ)に売られる」が存在するため、「-到」に対して日本語の「に」が対応する。但し、上記の日本語の表現は、「彼女は人買いによって山東(の買い手)に売られた。」という内容を表わすと解することが

でき、この場合の「二」は、「売る」という動作の相手を示す成分としての性格をも帯びている点で、純然たるところを示す成分である (7) の「二」とは異なると考えられる。

- 7) (8), (8)'は、荒川清秀 1990 「補語は動詞になにをくわえるか」『外語研紀要 (愛知大学) 一三』 p. 12 に挙げられているが、この表現例については、インフォーマントによって成立、不成立の判断が微妙に分かれ、このままでは不自然だが、例えば「她寄来的礼物, 我收到了, 可是我不想收下。」「她的礼物我收到了, 但是没收下, 又退回去了。」とすれば自然な表現として成立するとされるケースもあった。
- 8) 「钱搞到手了。」や「票已拿到手了。」のような「V到手」の形式をとる表現においては、「手」は動作の結果として客体が到達するところであるが、「钱, 票」は、動作の結果として主体が手に入れるものである。このような表現における「-到」は、客体の到達点としてのところを示す働きを担っているのは勿論のこと、「到手」のカタチで動作の実現をも表わしていると見て差し支えない。このような表現の存在によっても、到達点を示す「-到」と動作の実現を表わす「-到」との間の連続性は明白である。
- 9) 刘月华ほか 1983 《实用现代汉语语法》外语教学与研究出版社
- 10) 香坂順一 1983 『中国語の単語の話—語彙の世界』光生館, 頼明 (らいあきら) 1993 『《儒林外史》における“動詞+到”及び“動詞+着”』『外国語学会誌 (大東文化大学) 二二』 また、项开喜 1997 「与“V 到 NP”格式相关的句法语义问题」《语言研究论丛 (第七辑)》南开大学中文系《语言研究论丛》编委会编 语文出版社 p. 160 は、「在普通话及华北地区的方言中, “着”的出现频率要比江淮方言、西南方言及其他方言中“着”的出现频率高得多。另外, 口语当中“着”的出现频率要比书面语当中高得多。」としている。
- 11) 项前掲書
- 12) 『中国語教科書 (上卷)』北京語言学院編 光生館 1984
- 13) この点については、平井・成戸前掲書 p. 108 を参照。